

職務経歴書

基本情報

項目	内容
名前	笹川 尋翔 (ささがわ ひろと)
GitHub	nagutabby
メールアドレス	nagutabby@nagutabby.uk

資格

年	月	
2020	7	ITパスポート試験
2020	10	Python 3 エンジニア認定基礎試験
2021	2	基本情報技術者試験
2021	3	Ruby Association Certified Ruby Programmer Silver version 2.1
2021	8	LE-1: Linux Essentials
2022	6	AWS Certified Cloud Practitioner
2022	8	AWS Certified Solutions Architect – Associate
2023	2	Microsoft Certified: Azure Fundamentals
2023	3	LPIC-1
2023	5	TOEIC L&R 770点

スキル

プログラミング言語

- Ruby
- JavaScript
- TypeScript
- Python

フレームワーク

- Ruby on Rails
- SvelteKit

AWS

- Amazon EC2
- Amazon S3
- Amazon SES
- Amazon CloudWatch

DevOps

- Git
- CircleCI
- GitHub Actions
- Docker

インターンシップ

株式会社CirKit

特にSAKITOの開発に貢献したため、このサービスの開発において努力した点を述べる。

1つ目は、引換券のペーパーレス化である。これまではSAKITOで入手した引換券をレジで紙の引換券に交換し、さらにその紙の引換券を商品と交換する必要があったが、SAKITOの引換券と商品を直接交換できる機能を追加することでアプリの利便性を向上させた。

2つ目は特典コードの作成・入力機能である。大学近くの自動車学校への入校特典として提供するための特典コードの作成・入力機能を実装し、SAKITOのマネタイズを推進した。

3つ目は保守性の向上である。初めにRails 5.0からRails 7.0、Ruby 2.6からRuby 3.2、MySQL 5.7からMySQL 8.0にアップデートした。続いて、ホスティングサービスからIaaS、IaaSからPaaSに段階的に移行することでサービスの運用費を削減した。

自己PR

私はCirKitのメンバーとしてシステムの受託開発に3年間携わっており、Webアプリのサーバーサイド・バックエンド・フロントエンドの開発経験がある。CirKitは、メディアの受託制作やシステムの受託開発をしている学内プロジェクトであり株式会社である。

CirKitでは学生がシステムを開発しているため、知識や経験が少なく、同じシステムを長期間に渡り開発していく持続的なシステム開発が苦手である。システム開発の持続性を高めるには、研修体制の強化、研修内容の見直し、技術コミュニティで現役のITエンジニアと交流することによる、知識のインプットやアウトプットの機会の確保が必要である。

私は、研修期間を6か月から9か月に伸ばすことや、ReactやNext.jsなどの現在主流となっている技術を研修内容に加えることを当時の研修リーダーに提案し、研修の質の向上を図った。また、[kanazawa.rb](#)や[JAWS-UG 金沢](#)という技術コミュニティに所属し、社内の開発メンバーをそれらの技術コミュニティ主催のイベントに誘うことで、社内の開発メンバーに新しい知識を身に付ける機会を提供した。

一方で、「外部の技術コミュニティのイベントに参加するのは敷居が高い」と感じるメンバーのために、HackitというCirKit主催の学内ハッカソンの立ち上げを手伝い、Hackitの第1回にメンバーとして参加した。